

# 和地ひとみレポート No.221



## 駅周辺の自転車等駐車場の整備に向けて 納得感、満足感の向上を伴った有料化を

### ■『各駅周辺の自転車等駐車場計画』（案）

…9月15日から10月14日まで実施されていた『各駅周辺の自転車等駐車場計画』（案）に対するパブリックコメントの結果がこのたび公表されました。（提出された意見は3人の方から12件。主に玉川上水駅周辺のものに関するもの。パブリックコメントの結果は、市のホームページで閲覧可能）

…今回パブリックコメントの対象となった『各駅周辺の自転車等駐車場計画』（案）は、H26年3月に策定された、『東大和市自転車等の駐車対策に関する総合計画』（以下、総合計画）に基づき作られたものです。この『総合計画』は市内5駅周辺における自転車等の駐車環境の改善を図るため、「東大和市自転車等駐車対策協議会」からの答申を踏まえ策定されたもので、この『総合計画』に基づき、以下の課題解決に向けた計画が『各駅周辺の自転車等駐車場整備計画』（案）です。

### 【駅周辺の自転車等駐車場の課題】

- 「受益者負担の適正化」
- 「自転車等駐車場の環境改善」
- 「自転車利用の抑制」
- 「鉄道事業者等との役割分担」
- 「市の負担軽減」

### ■各駅の状況は

…市は『総合計画』を策定するにあたり①5駅（東大和市駅、玉川上水駅、武蔵大和駅、桜街道駅、上北台駅）周辺自転車等駐車実態調査、②「自転車等利用に関する市民意識調査」、③「自転車等駐車場利用者アンケート調査」をH24年に実施。「東大和市自転車等駐車対策協議会」では、これらの結果を基礎資料としたうえで協議が行われました。

### 【市内5駅の状況など】 ※市の資料より

駅名	H24年調査結果						各駅周辺の自転車等駐車場整備計画（案）の内容		
	H23年度 乗車人員 （/日）	収容可能台数			利用者比率		総合計画の 整備目標台数 ※1	整備計画 台数	不足台数
		無料	有料	合計	市内	市外			
東大和市	11,793	953	2,269	3,222	73.2%	26.8%	3,101	3,101	0
玉川上水	29,376	3,293	800	4,093	47.0%	53.0%	3,034	2,772	262 ※2
武蔵大和	3,603	1,180	0	1,180	72.9%	27.1%	1,259	1,208	51 ※3
桜街道	2,937	300	0	300	50.9%	49.1%	495	502	0
上北台	5,896	690	0	690	55.5%	44.5%	1,774	1,774	0

※1 整備目標台数は「最小値を適用」。その駅を出発点として駅まで自転車等を利用する人（正利用者）と買い物などの利用者とし、すべて一時利用として考える。駅から降りた後に自転車等を利用する人＝その駅を目的地として電車から降りた後に自転車等を利用する人（逆利用者）でスペースを共有する場合として算出したもの。

※2 玉川上水駅の不足に関しては、鉄道事業者である西武鉄道に収容台数の拡大を求めていく。また、他の駅周辺駐車場の収容台数拡大を進め、利用者に他駅利用や利用抑制を求めていく。

※3 武蔵大和駅の不足に関しては、近距離からの利用者への自粛をお願いしていくとともに、実施計画において収容台数を増やすことの検討を行う。

### ■新たな事業形態を

#### 東大和市でも採用

…『各駅周辺の自転車等駐車場計画』（案）には、今後の実施スケジュール、整備の方針や自転車等駐車場の事業形態の検討について等が書かれています。（整備計画台数については下記の表のとおり）

…例えば、事業形態については『公設民営』『民設民営』『公益財団法人自転車駐車場整備センターによる事業（民設民営）』などが比較検討されました。最も効果的、効率的とされたのは『公益財団法人自転車駐車場整備センター（以下、整備センター）による事業』はJKA（競輪とオートレースの公益法人）単独事業または補助事業等を活用して、整備センターが設計・整備を行い、建設費用を回収できるまでの期間（概ね10年～25年）直営管理することにより、整備センターが投じた費用を償還するというもの。建設費用の回収後、設置機材などの施設は市に原則無償譲渡されるというものです。この場合、土地の借り上げ料は市の負担となりますが、駐輪場の施設整備費用については市の負担はありません。この方法で駐輪場を整備している多摩地区の市は10市。また、過去に整備センターを活用して、すでに無償譲渡を受けている市は6市あります。東大和市の計画案でも、有料自転車等駐車場の整備運営は、市と整備センターで協定書を締結して事業を進めていくとされています。

### ■駐輪場の有料化

…また、計画案では、各駅周辺の自転車等駐車場の運営方針も示されています。今回の計画案での大きな変化は市が運営する自転車等駐車場の有料化です。各駅周辺の自転車等駐車場の運営方針案は以下の通りです。（裏面につづく）

## 【各駅周辺の自転車等駐車場の運営方針案】

※市の案では有料駐輪場は1日1回自転車¥100、原付バイク¥150。自転車の定期利用は1か月¥1800、3か月¥5100、6か月¥9700。屋根付きは料金がプラス10%。学生割引等あり。

### ～東大和市駅周辺～

全ての自転車等駐車を西武鉄道が有料で運営することを求めている。現在民有地を有償で借用している第4自転車等駐車場(東大和市駅前交差点北東側)は閉鎖し、土地を返還。H29年8月開設予定。

### ～武蔵大和駅周辺～

西武鉄道から無償で借用している用地は返還し、西武鉄道が有料で運営することを求めている。都水道局から無償で借用している用地は、市営で有料とするため、新たに土地賃借料が発生する。H29年10月開設予定。

### ～玉川上水駅周辺～

駐車台数が不足するため、総合計画に基づき団地北側の市道の歩道、都立東大和南公園南の市道の北側歩道に新たに自転車等駐車を確保する。西武鉄道にも収容台数の拡大を求めている。H29年11月開設予定。

### ～桜街道駅周辺～

駐車台数が不足するため、新たに民有地を借用して自転車等駐車を整備する。現在、都道内に設置している第1、第2、第3自転車等駐車場は、歩道通行者の支障になっているので廃止。H29年11月開設予定。

### ～上北台駅周辺～

駐車台数が不足するため、新たに民有地を借用して整備する。上北台周辺の既存の自転車等駐車場は全て使用し、有料化を図る。H29年11月開設予定。

…また、この計画の中では、モノレール駅周辺の自転車等駐車場利用者に武蔵村山市民が相当数含まれることを受け、東大和市が借用する民有地の賃借料について武蔵村山市民に適切な負担を求めていく方針も書かれています。

## ■利用者、市民のアンケート結果から

…前述のとおり、市は『自転車等駐車場利用者』と『市民』に対しアンケートを実施しています。自転車等駐車場の

有料化関係への回答は以下の通りです。

【利用者アンケート】回答数 1,881 件

有料化になった場合…

「条件に関わらず利用したい」12%

「条件によっては利用したい」52%

⇒内訳:「利用料金」39%、「設備」7%



【市民アンケート】回答数 1,307 件

駐輪場の整備、運営費は誰が負担すべきか…

「市と利用者が負担すべき」50.1%

「全額利用者が負担すべき」13.8%

「全額市が負担すべき」15.5%

…H28年度の市の予算を見ると自転車等駐車場に対する歳出は2,275万円、歳入は(主に放置自転車等撤去手数料)は31.6万円。赤字は約2,243万円です。一方、今回の計画案で市の駐輪場が有料になり、放置自転車撤去料を見直した場合の市の見積もりでは歳出2,594.8万円、歳入535.8万円、赤字2,059万円となります。(放置自転車撤去手数料の改定案は現行¥1000⇒改定案¥2000(原価¥2035))

…日本の経済、人口が右肩上がりの時代が去り、地方分権、少子化(人口減少)となった現在は、行政サービスは基本的に無料という時代ではなくなりました。使う人も使わない人も同じ=平等という行政サービスから受益者負担を求め、将来にツケを残さない行政運営に東大和市もシフトしています。今まで価格不明だった行政サービスの価格が見えてきたとも言えます。アンケートで「有料でも利用する」と回答した人は屋根や防犯カメラの設置、管理人の配置などサービスの向上を希望しています。有料化で価格が「見える化」した後は、民間のように『より良いサービスを求めやすい納得できる価格で』提供することが行政にも求められることは明らかです。

…東大和市も次のステップに自ら踏み出しました。有料化して一安心とはいきません。これは、サービスと価格のバリュー(値打ち)に責任を持つということへのシフトだということを市は認識し、新たな取り組みをスタートするべきだと思います。

## 新学校給食センター竣工・・・来年度より給食提供をスタート



…12月1日、新学校給食センター竣工にともない、市議会の内覧会がありました。来年度から毎日、市内の小中学校の子ども達に約8000食の給食を提供する新学校給食センターは限られた土地の中で、何とか希望する機能を備えた施設として出来上がりました。2階建てという一般的な給食センターにはない構造のため、お米を保管するサイロは国内最大級のものとなり、炊飯のレーンも国内でも最長級のものになったとの説明がありました。また、一般的な給食センターには備えられない、ハンバーグやコロ

ックを成型し、パン粉を自動で付ける成型機も導入。これは、今まで手作りを中心に作ってきたメニューを新学校給食センターでも続けてほしいという審議会の意見を取り入れたためとのことです。新学校給食センターは当初見積もりより高額なものとなりましたが、災害時の炊き出し対応機能も備えています。建設にかかった費用以上の価値を市民に(子どもたちに)届け、市民の自慢となるような学校給食センターになることを期待します。

### 市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

## 「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となり、月刊誌『日経WOMAN』でのベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102